

資料4

# 日本版改良藤田スケールの 成果発表について

気象庁

# 成果発表一覧と今後の予定

## • ガイドライン策定以降の主要な成果発表一覧

[ ]内は発表者

### – 平成28年

- 4月 日本風工学会誌「特集 近年の突風被害の実態と被害低減に向けた取り組み」[気象庁]
- 5月 日本風工学会 2016年度年次大会 [気象庁]
- 5月 日本気象学会 2016年度春季大会シンポジウム [田村会長]
- 6月 日本気象予報士会 2016年度総会記念講演 [田村会長、気象庁]
- 10月 日本気象学会 天気「気象業務の窓」[気象庁]
- 11月 米国気象学会 28th Conf on Severe Local Storms [新野委員ほか]

### – 平成29年

- 1月 米国気象学会年次総会 Special Symposium on Severe Local Storms [気象庁]
- 2月 日本建築学会「技術報告集」[喜々津委員ほか]
- 3月 風工学研究拠点 国際ワークショップ(神奈川) [気象庁]
- 5月 日本地球惑星科学連合 JpGU-AGU Joint Meeting 2017(千葉) [気象庁]
- 9月 9th European Conference on Severe Storms – ECCS 2017(クロアチア) [新野委員]

\* 以上は、竜巻等突風の強さの評定に関する検討会(第8回)で報告済み \*

### – 平成30年

- 3月 風関連災害 国際ワークショップ(仙台) [気象庁]
- 5月 WMO News From Membersへの記事掲載 [気象庁]

## • 今後の成果発表予定

### – 平成31年

- 日本気象学会の気象集誌(Journal of the Meteorological Society of Japan) への論文投稿 [気象庁]